

「JAPEX2025」を見学して

松井恒雄

10月31日(金)～11月2日(日)まで東京都立産業貿易センター台東館で開催された「JAPEX2025」を見学する為に10月30日に上京しました。

31日(金)は10時すぎに会場に到着し、浅草郵便局の臨時出張所で2種の小型印と江戸の「五街道」にちなんだ東京都内の風景印(5局)と「日露戦争にちなむ明治神宮」の風景印(1局)を押印してもらい、又、外国郵政ブースで、チェコ郵政・ハンガリー郵政・ポーランド郵政の記念印を押印してもらいました。その後、展示してある作品をじっくり見学しました。今年は九州からの出品者は伝統郵趣で福岡支部の栗原さん(銀銅賞)・鹿児島支部長の永吉さん(大銀銅賞)・郵便史で北九州支部の久米さん(大金銀賞)・文献で長崎の内野さん(銀銅賞)が出品されていました。出店している切手商のブースを覗きましたが、多くの郵趣家が切手類を漁っていました。私も出店していましたアオヤマスタンプ・パインスタンプに挨拶をし、切手類を探しました。

1日(土)も10時過ぎに会場に着き、展示作品をじっくり見学し、切手商のブースを見てあるき、11時半過ぎに収友と会いましたが、4人で会食して別れました。

2日(日)も10時すぎに会場に到着し、展示作品を見てから、会場を出ました。

3日は娘夫婦と都内を観光しました。

4日の12時過ぎに羽田空港に着き昼の便で帰福しました。

「JAPEX2025」を見学しましたが、収友とも会い有意義な東京行でした。

第60回全国切手展
The 60th Japan Philatelic Exhibition JAPEX2025

